

第26回 愛教研小・中学校道德教育研究大会
**道德教育と「特別の教科 道德」の
 充実に向けて**

国立教育政策研究所
 教育課程調査官 井上結香子
 (併任) 文部科学省教科調査官

本日の内容

- 1 令和の日本型学校教育
- 2 道德教育の充実に向けて
- 3 道德科の授業の充実に向けて

本日の内容

- 1 **令和の日本型学校教育**
- 2 道德教育の充実に向けて
- 3 道德科の授業の充実に向けて

1 令和の日本型学校教育とは

諸外国からも注目される
日本型学校教育
 とは？



- 学校**
- 学習機会と学力の保障
 - 全人的な発達・成長の保障
 - 身体的・精神的な健康の保障

（「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」関連資料集により作成）

教育基本法第1条

教育は、**人格の完成**を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

「小学校（中学校）学習指導要領解説 総則編」

人格の完成及び国民の育成の基盤となるのが道徳性であり、その道徳性を養うことが**道徳教育の使命**である。

教育基本法第2条

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 幅広い知識と教養を身に付け、**真理を求める態度**を養い、**豊かな情操と道徳心**を培うとともに、**健やかな身体**を養うこと。
- 個人の価値を尊重**して、その能力を伸ばし、**創造性**を培い、**自主及び自律の精神**を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、**勤労を重んずる態度**を養うこと。
- 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる**とともに、**公共の精神**に基づき、**主体的に社会の形成に参画**し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 生命を尊び、自然を大切に**し、**環境の保全に寄与**する態度を養うこと。
- 伝統と文化を尊重**し、それらをはぐくんできた**我が国と郷土を愛する**とともに、**他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度**を養うこと。

中央教育審議会

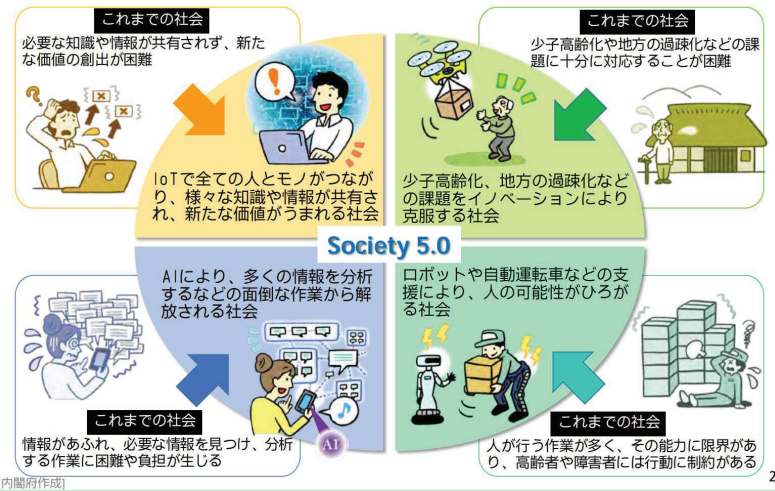
「**令和の日本型学校教育**」の構築を目指して
 ～全ての子供たちの可能性を引き出す、
 個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）

令和3年1月26日
 （以下、「令和3年答申」）

急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0時代**」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」（令和3年答申）

Society 5.0で実現する社会



➤ 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

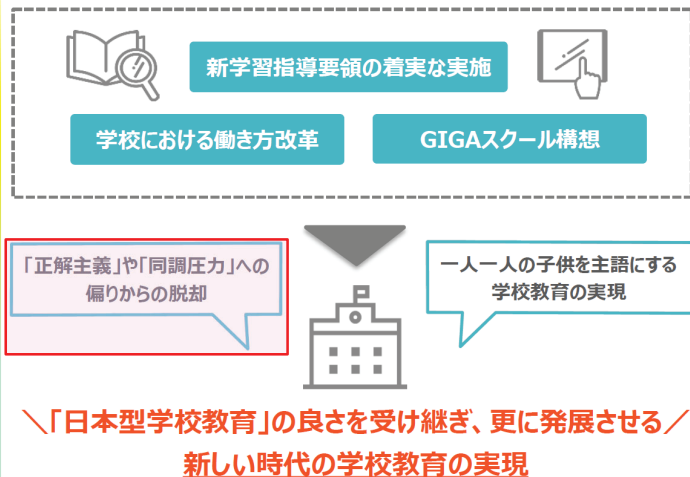
- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0時代**」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」（令和3年答申）

学習指導要領の
着実な実施

ICTの活用

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となる**ことができるようになることが必要（令和3年答申）

【新しい動き】

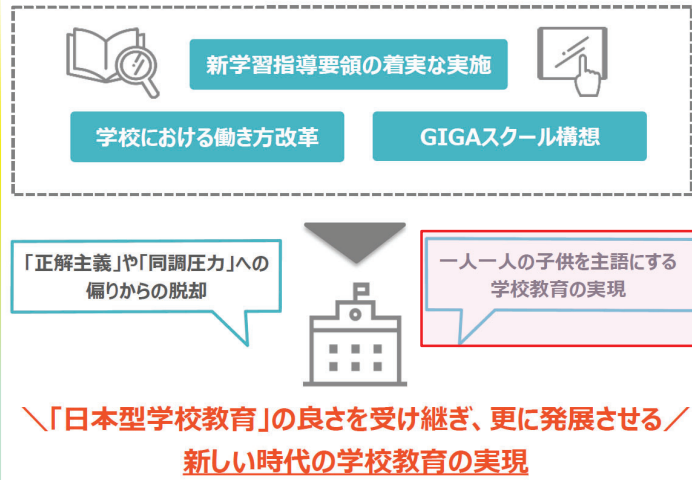


（「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」関連資料集により作成）

『小学校（中学校）解説 道徳編』第4章第3節
「3 児童（生徒）が主体的に道徳性を育むための指導」

道徳教育の本来の使命に鑑みれば、特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するように指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない。

むしろ、**多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、人間としてよりよく生きるために道徳的価値に向き合い、いかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢こそ道徳教育が求めるもの**と言える。



(「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」関連資料集により作成)

『小学校(中学校)解説 道徳編』第4章第2節
「1 指導の基本方針」

(1) 道徳科の特質を理解する
道徳科は、**児童(生徒)一人一人が、ねらいに含まれる一定の道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間**である。

学習指導要領の前文

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要(令和3年答申)

中央教育審議会

「道徳に係る教育課程の改善等について(答申)」

平成26年10月21日

…今後グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることが一層重要な課題となる。こうした課題に対応していくためには、**社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えることがこれまで以上に重要**であり、こうした資質・能力の育成に向け、**道徳教育は、大きな役割を果たす必要がある。**

本日の内容

- 1 令和の日本型学校教育
- 2 道徳教育の充実に向けて
- 3 道徳科の授業の充実に向けて

道德教育推進教師の位置づけと管理職のリーダーシップ

1 各学校においては、第1の2の(2)に示す**道德教育の**____を踏まえ、**道德教育の**____を作成し、____の方針の下に、**道德教育の推進を主に担当する教師**（以下「**道德教育推進教師**」という。）を中心に、**全教師が協力して道德教育を展開すること。**

小学校学習指導要領解説総則編「第6節道德教育推進上の配慮事項1(1)道德教育の指導体制」、中学校学習指導要領解説総則編「第6節道德教育推進上の配慮事項1(1)道德教育の指導体制」

道德教育推進教師の位置づけと管理職のリーダーシップ

1 各学校においては、第1の2の(2)に示す**道德教育の**____を踏まえ、**道德教育の**____を作成し、____の方針の下に、**道德教育の推進を主に担当する教師**（以下「**道德教育推進教師**」という。）を中心に、**全教師が協力して道德教育を展開すること。**

小学校学習指導要領解説総則編「第6節道德教育推進上の配慮事項1(1)道德教育の指導体制」、中学校学習指導要領解説総則編「第6節道德教育推進上の配慮事項1(1)道德教育の指導体制」

道德教育推進教師の役割は？

- ・ **道德教育の指導計画の作成**に関すること
- ・ **全教育活動における道德教育の推進、充実**に関すること
- ・ **道德科の充実と指導体制**に関すること
- ・ **道德用教材の整備・充実・活用**に関すること
- ・ **道德教育の情報提供や情報交換**に関すること
- ・ **道德科の授業公開など家庭や地域社会との連携**に関すること
- ・ **道德教育の研修の充実**に関すること
- ・ **道德教育における評価**に関すること
- ・ **など**に関すること

小学校学習指導要領解説総則編「第6節道德教育推進上の配慮事項1(1)道德教育の指導体制」、中学校学習指導要領解説総則編「第6節道德教育推進上の配慮事項1(1)道德教育の指導体制」

令和3年度 道德教育実施状況調査

調査概要

- 1 **小学校、中学校対象調査**（無作為抽出）
 - ・ 学校の教育活動全体を通じて行う「**道德教育**」について、その全体計画作成にかかる留意点、学校による取組、課題
 - ・ 「**特別の教科道德**」について、実施上の工夫、課題
 - ・ **道德教育の充実**について、校内研修の実施状況、学校による取組、参考としている情報等
 - ・ **道德の「特別の教科」化を受けての変化**
- 2 **教育委員会対象**（都道府県、政令市、市区町教育委員会）
 - ・ 教育委員会としての取組
 - ・ **道德教育の充実**に向けて直面している課題
 - ・ **道德の「特別の教科」化を受けての変化**

令和3年度道徳教育実施状況調査

●道徳教育実施状況調査

・「道徳教育の更なる改善・充実を目指して～令和3年度道徳教育実施状況調査結果のポイント解説～」(動画)



令和3年度道徳教育実施状況調査の結果について、道徳担当教科調査官がポイントを解説する動画です。(所要30分程度)
先生方はもちろんのこと、各学校、教育委員会においても是非研修等でご活用ください。

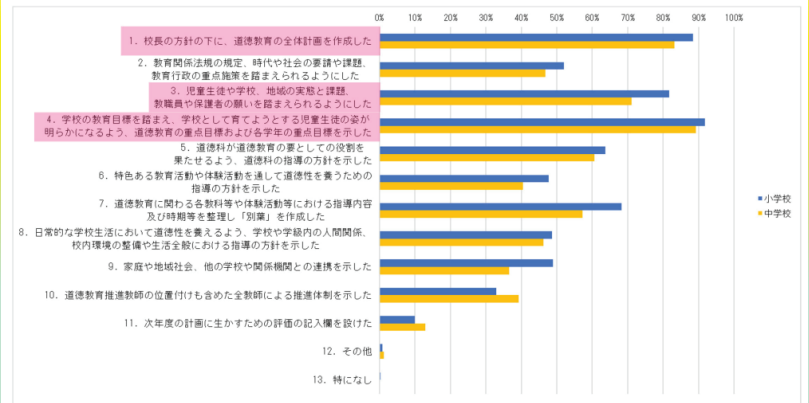
- ・解説動画で使用している資料「道徳教育の更なる改善・充実を目指して」(PDF:8.3MB)
- ・令和3年度道徳教育実施状況調査(結果概要) (PDF:3.7MB)
- ・令和3年度道徳教育実施状況調査(報告書) (PDF:2.1MB)
- ・道徳教育実施状況調査(平成24年度実施) (PDF:318KB)
- ・道徳教育推進状況調査(平成20年度実施) (PDF:380KB)



←道徳教育アーカイブQRコード

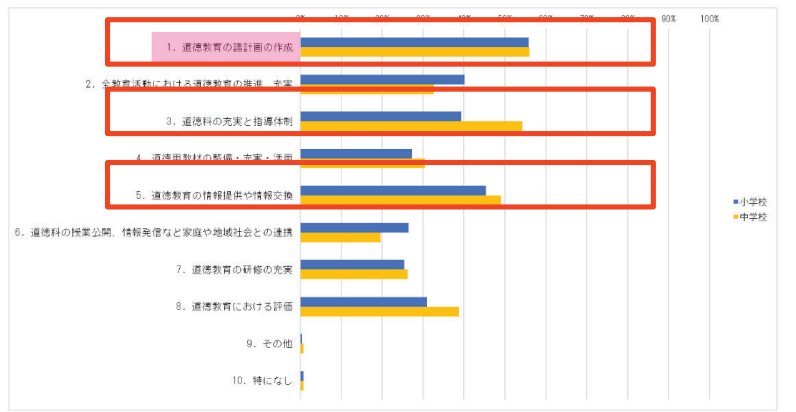
調査結果(小・中学校)

【設問1】道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点(複数回答可)



調査結果(小・中学校)

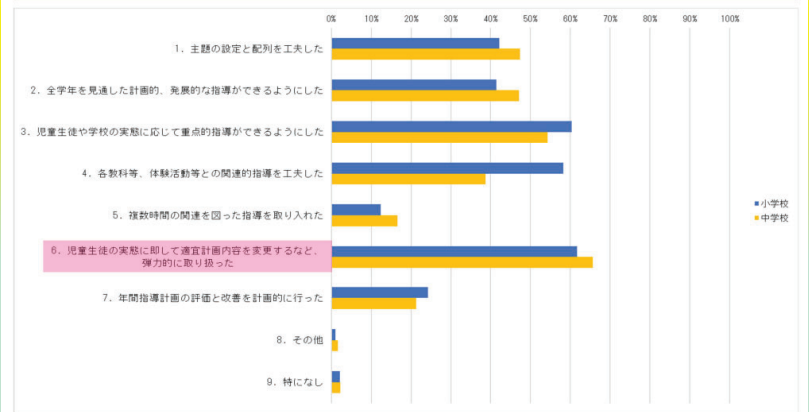
【設問10】道徳教育推進教師が重点を置いて取り組んでいること(複数回答可)



道徳教育に係る諸計画の作成に当たっての留意点①

調査結果(小・中学校)

【設問4】道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫(複数回答可)



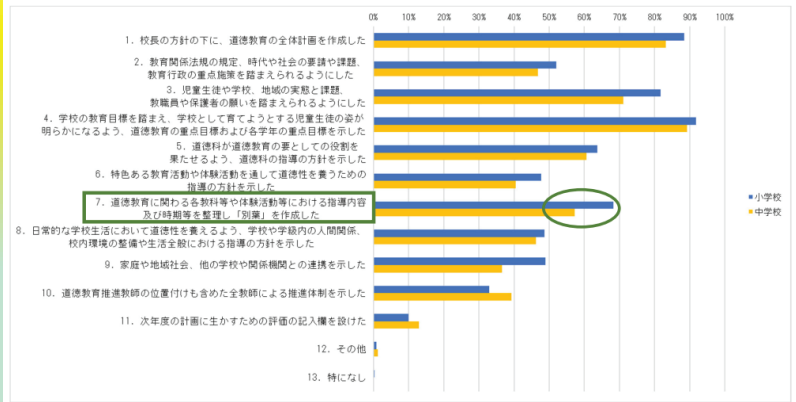
2 道徳教育の充実に向けて

道徳教育に係る諸計画の作成に当たっての留意点②

25

調査結果 (小・中学校)

【設問1】道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点 (複数回答可)



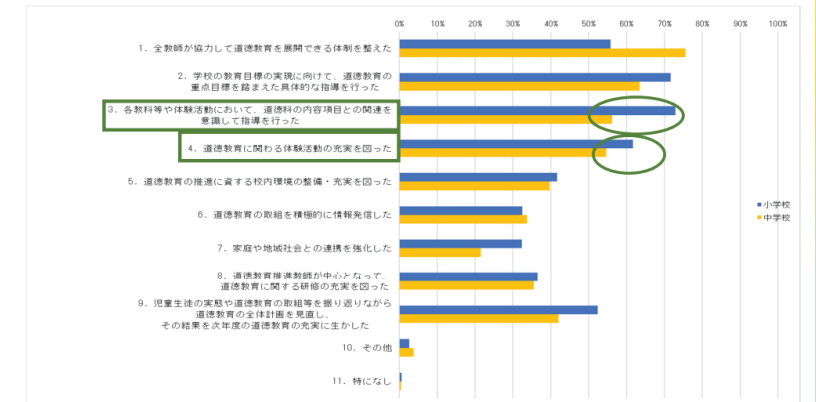
2 道徳教育の充実に向けて

道徳教育に係る諸計画の作成に当たっての留意点②

26

調査結果 (小・中学校)

【設問2】道徳教育の充実のために学校として行った取組 (複数回答可)



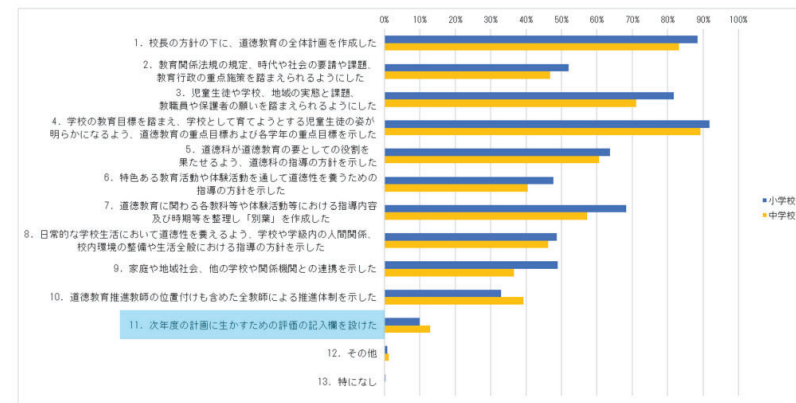
2 道徳教育の充実に向けて

道徳教育に係る諸計画の作成に当たっての留意点③

27

調査結果 (小・中学校)

【設問1】道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点 (複数回答可)



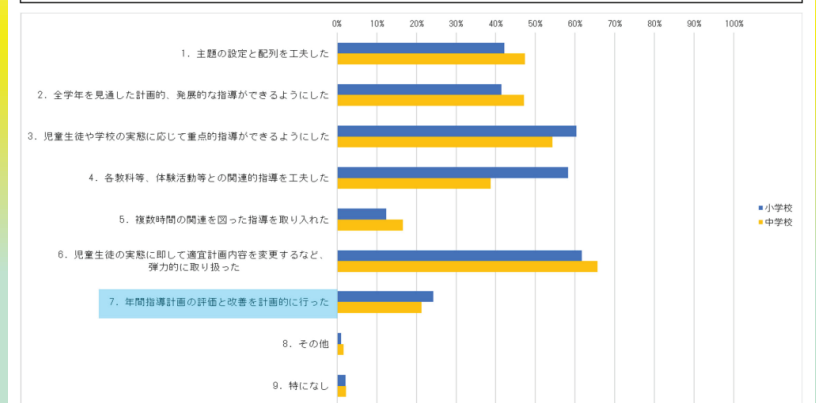
2 道徳教育の充実に向けて

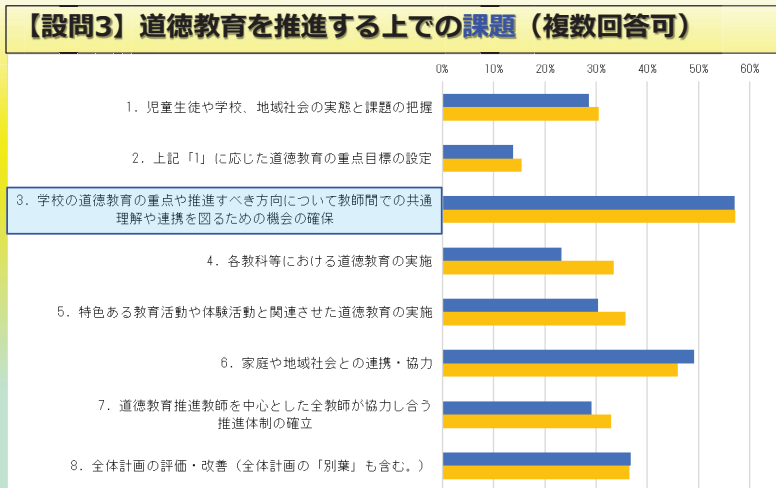
道徳教育に係る諸計画の作成に当たっての留意点③

28

調査結果 (小・中学校)

【設問4】道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫 (複数回答可)





アンケート結果から

Q：自校の道徳教育を推進する上で課題と感じていることを自由に記述してください。

- ・道徳教育に対する教職員間の温度差。若い教員は、頑張っている。
- ・学校（学年）全体での指導の共通認識が不足している。
- ・学習指導要領のねらいと、生徒の実態を組み合わせた授業を作るための、校内研修や共通実践をする余裕を持ちたい。
- ・各教員の道徳教育の捉え方の差。
- ・職員室でもっと道徳を論じることです。
- ・教員間つながり

3. 学校の道徳教育の重点や推進すべき方向について教師間での共通理解や連携を図るための機会の確保

教師間での共通理解

- ☑ 道徳教育で育成をめざす児童生徒像
- ☑ 重点とする内容項目
- ☑ 児童生徒の実態・課題の把握
- ☑ 道徳教育の指導方針

道徳教育の全体計画



道德教育の全体計画



小：あかるく なかよく たのしく
 中：豊かな感性 確かな知性 あふれる意欲

○学校教育目標から、**道德教育の重点目標 = 具体的な育成を目指す児童生徒の姿**を考えてみましょう！

→児童生徒の実態把握
 家庭、地域、教師の願い

道德教育で育成を目指す具体的な児童生徒の姿を**視点**として 児童生徒の実態を把握

- 授業では？
- 行事では？
- 休み時間や放課後では？
- 部活動では？
- 家庭では？

具体の姿で

道德教育の全体計画



**内容項目の重点は
 指導に生かされていますか？**

完成版を共有 ではなく プロセスを共有

- 道德教育で育成をめざす児童生徒像
- 重点とする内容項目
- 児童生徒の実態・課題の把握
- 道德教育の指導方針

- 1 令和の日本型学校教育とは
- 2 道徳教育推進教師の役割
- 3 道徳科の授業の充実に向けて

- 3 道徳科の授業の充実に向けて
- (1) 道徳科の目標と内容
- (2) 学習指導要領の趣旨
- (3) 主体的・対話的で深い学び
- (4) 道徳科の授業改善
- (5) 道徳科の特質を踏まえたICTの活用
- (6) 道徳科における評価
- (7) 道徳科において大切にしたいこと

皆さん、
道徳科の授業を
楽しんで
いらっしゃいますか？

道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共に**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う**ことを目標とする。

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

※()は中学校の表記

道徳教育と道徳科の目標



道徳性の諸様相(学校教育における道徳性の捉え方)

道徳的判断力

…それぞれの場面で善悪を判断する能力

道徳的心情

…道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

道徳的実践意欲

…道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

道徳的態度

…道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

※()は中学校の表記

(1) 道徳科の目標と内容

内容

小

A 主として自分自身に関する事
[善悪の判断, 自律, 自由と責任][正直, 誠実][節度, 節制]
[個性の伸長][希望と勇気, 努力と強い意志][真理の探究]

B 主として人との関わりに関する事
[親切, 思いやり][感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

C 主として集団や社会との関わりに関する事
[規則の尊重][公正, 公平, 社会正義][勤労, 公共の精神]
[家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実]
[伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度][国際理解, 国際親善]

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事
[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

(1) 道徳科の目標と内容

内容

中

A 主として自分自身に関する事
[自主, 自律, 自由と責任][節度, 節制][向上心, 個性の伸長]
[希望と勇気, 克己と強い意志][真理の探究, 創造]

B 主として人との関わりに関する事
[思いやり, 感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

C 主として集団や社会との関わりに関する事
[遵法精神, 公德心][公正, 公平, 社会正義][社会参画, 公共の精神]
[勤労][家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実]
[郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度]
[我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度][国際理解, 国際貢献]

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事
[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

(1) 道徳科の目標と内容

小

[第1学年及び第2学年] 16 → 19

[第3学年及び第4学年] 18 → 20

[第5学年及び第6学年] 22 → 22

中

[中学校]

24 → 22

(1) 道徳科の目標と内容

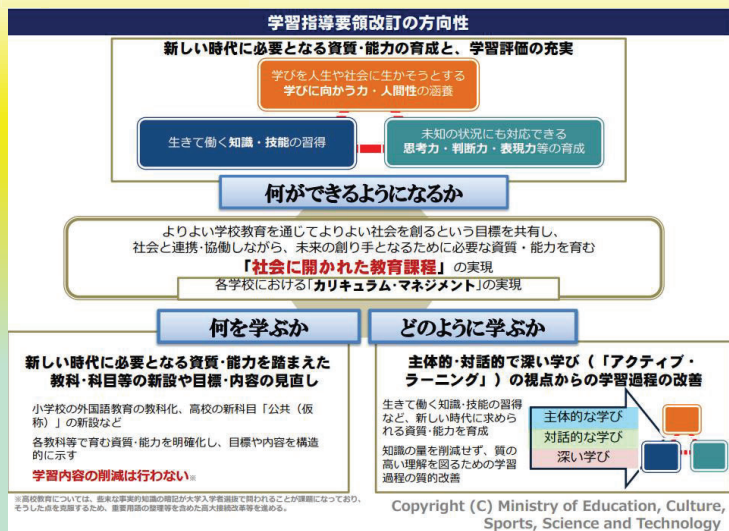
いじめに関する内容の充実

小・中学校学習指導要領の改訂により、道徳科の内容の示し方について、いじめ問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善

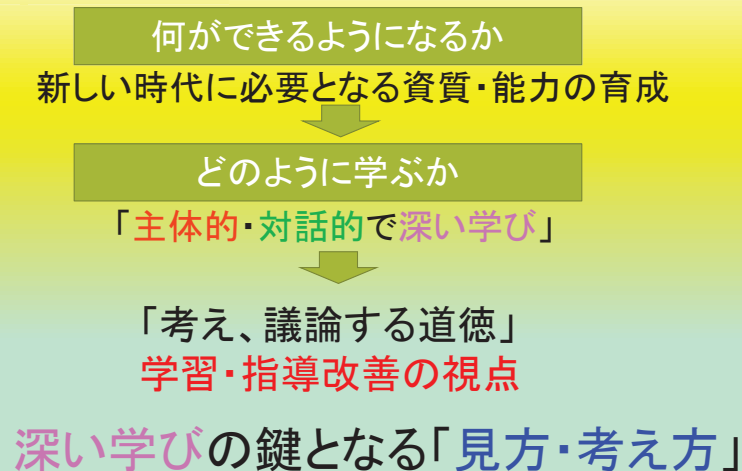
- 第1・2学年に
「個性の伸長」、「公正、公平、社会正義」、
「国際理解、国際親善」を、
- 第3・4学年に
「相互理解、寛容」、「公正、公平、社会正義」、
「国際理解、国際親善」を、
- 第5・6学年には
「よりよく生きる喜び」の内容項目を追加した。

体系的とは：系統的。統一的。

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (2) 学習指導要領の趣旨



3 道徳科の授業の充実に向けて
 (2) 学習指導要領の趣旨



3 道徳科の授業の充実に向けて
 (3) 主体的・対話的で深い学び

深い学びの鍵となる「見方・考え方」

(1) ...特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「見方・考え方」という。）...

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (3) 主体的・対話的で深い学び

深い学びの鍵となる「見方・考え方」

道徳科の目標の学習活動と同じであると言える

多様な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで(広い視野から)多面的・多角的に捉え、自己の(人間としての)生き方について考えること
 中央教育審議会(答申)28. 12. 21

「主体的・対話的で深い学び」

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考え、議論する道徳」の実現

これまでの道徳の時間の授業の課題

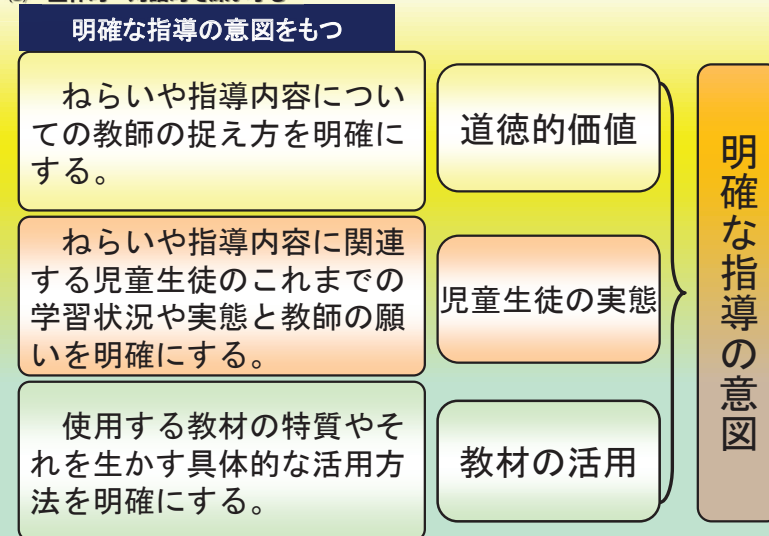
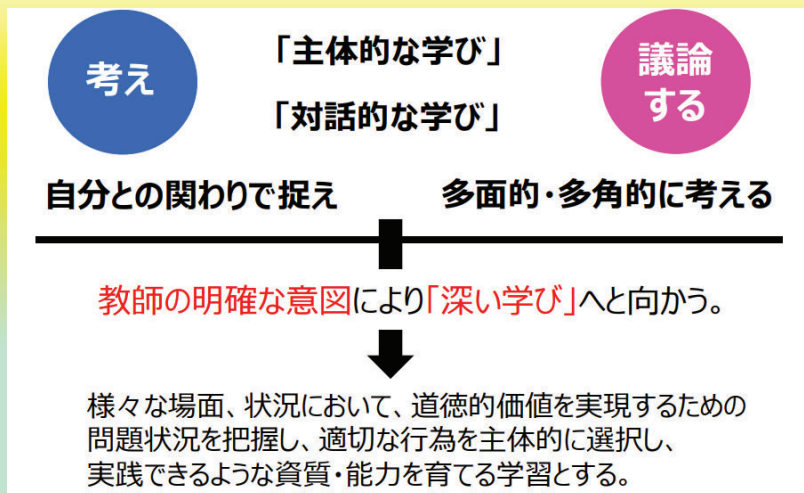
- ・ 読み物教材の登場人物の心情理解のみに終始する指導
- ・ 主題やねらいの設定が不十分な単なる生活体験の話合いの指導
- ・ 望ましいと分かっていることを言わせたり書かせたりすることに終始する指導

「主体的・対話的で深い学び」

道徳科の目標の中に示された学習活動に着目

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習

※()は中学校の表記



深い学びにつながる指導方法の例示

- ・読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
教材の登場人物の判断と心情を自分との関わりにおいて多面的・多角的に考えることを通し、道徳的価値の理解を深めること
- ・問題解決的な学習
児童生徒の考えの根拠を問う発問や、問題場面を自分に当てはめて考えてみることを促す発問などを通じて、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせること
- ・道徳的行為に関する体験的な学習
疑似体験的な活動(役割演技など)を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解することで、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うこと

道徳科における質の高い多様な指導方法

これらは多様な指導方法の一例であり、それぞれが独立した指導の「型」を示しているわけではない。

道徳科における具体的な学習プロセスは限りなく存在し得るもの

学習指導過程や指導方法の工夫の配慮事項

児童(生徒)の発達の段階や特性等を考慮し、**指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れる**など、指導方法を工夫すること。その際、それらの活動を通じて学んだ内容の**意義などについて考える**ことができるようにすること。また、特別活動等における多様な実践活動や体験活動も道徳科の授業に生かすようにすること。

令和3年度 道徳教育実施状況調査の概要

1. 調査の目的
道徳科を要とした道徳教育の全国的な取組状況や課題を把握することで、今後の道徳教育のさらなる改善、充実を図るために必要な知見を得る。
2. 調査対象
・公立小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程)
※無作為抽出により小学校1、197校、中学校1、144校
・全ての都道府県、市区町村の教育委員会(計1、784)
3. 調査内容

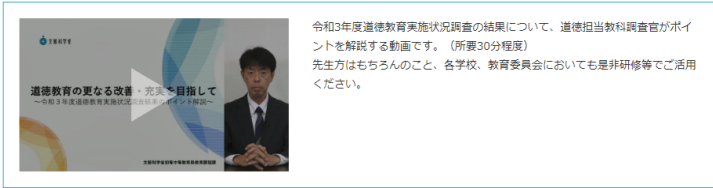
調査項目(小・中学校対象)	
設問1	道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点
設問2	道徳教育の充実のために学校として行った取組
設問3	道徳教育を推進する上での課題
設問4	道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫
設問5	道徳科の詳確の工夫
設問6	道徳科の授業を実施する上での課題
設問7	道徳科の評価を行う上での課題
設問8	道徳教育の校内研修実施回数
設問9	校内研修で重点を置いていること
設問10	道徳教育推進教師が重点を置いて取り組んでいること
設問11	道徳教育の充実のために参考としている情報
設問12	道徳の「特別の教科」化を受けた変化
設問13	道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化

調査項目(教育委員会対象)	
設問1	道徳教育の充実のために行っている取組
設問2-①	道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること
設問2-②	課題解消に向けた方策のうち、単独での対応が困難なもの
設問3	道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化
設問4	道徳の「特別の教科」化を受けた学校におけるその他の変化

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (4) 道徳科の授業改善

●道徳教育実施状況調査

・「道徳教育の更なる改善・充実を目指して～令和3年度道徳教育実施状況調査結果のポイント解説～」(動画)



令和3年度道徳教育実施状況調査の結果について、道徳担当教科調査官がポイントを解説する動画です。(所要30分程度)
 先生方はもちろんのこと、各学校、教育委員会においても是非研修等でご利用ください。

- ・解説動画で使用している資料「道徳教育の更なる改善・充実を目指して」(PDF:8.3MB)
- ・令和3年度道徳教育実施状況調査(結果概要)(PDF:3.7MB)
- ・令和3年度道徳教育実施状況調査(報告書)(PDF:2.1MB)
- ・道徳教育実施状況調査(平成24年度実施)(PDF:318KB)
- ・道徳教育推進状況調査(平成20年度実施)(PDF:380KB)

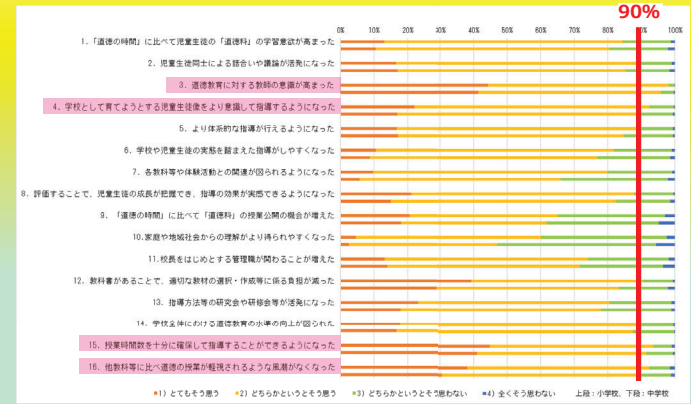


←道徳教育アーカイブQRコード

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (4) 道徳科の授業改善

調査結果(小・中学校)

【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化

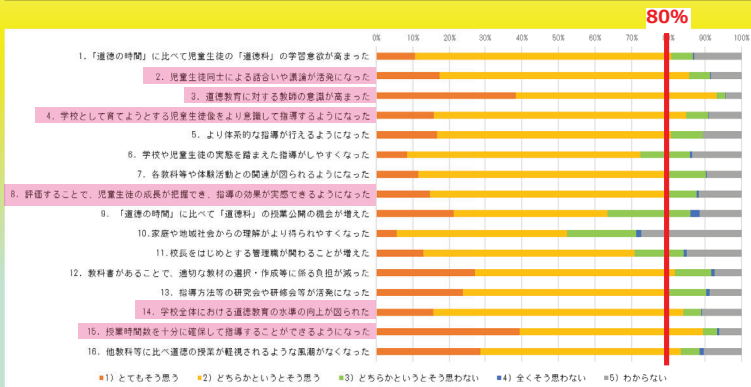


【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (4) 道徳科の授業改善

調査結果(教育委員会)

【設問3】道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化

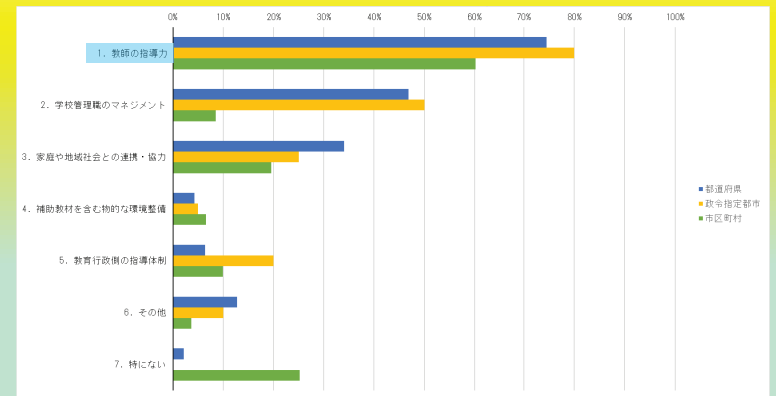


【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (4) 道徳科の授業改善

調査結果(教育委員会)

【設問2-①】道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること(複数回答)



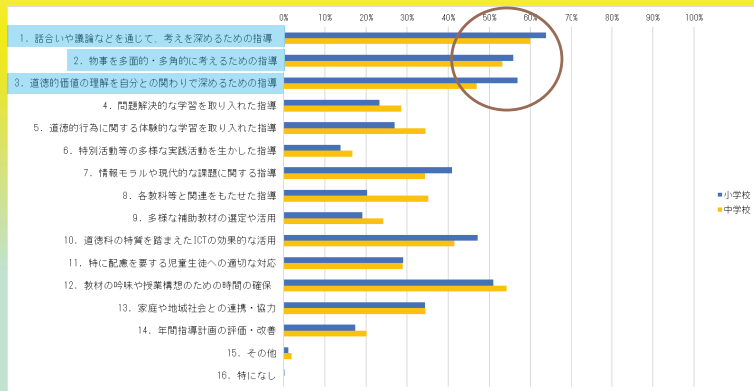
【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて

(4) 道徳科の授業改善

調査結果 (小・中学校)

【設問6】道徳科の授業を実施する上での課題 (複数回答可)



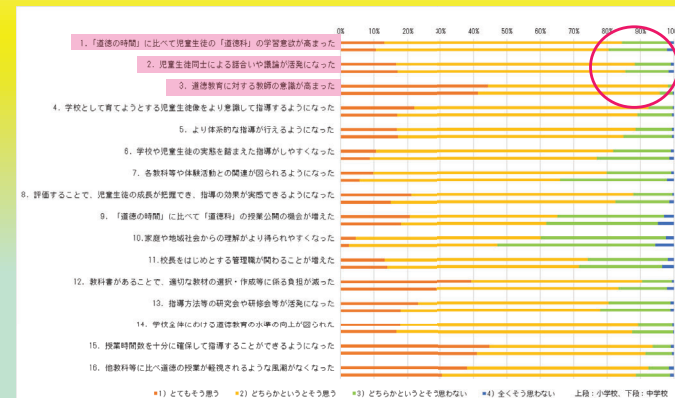
【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて

(4) 道徳科の授業改善

調査結果 (小・中学校)

【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



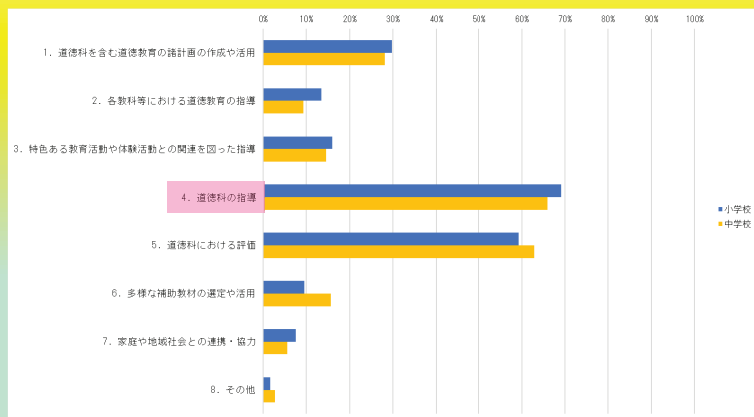
【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて

(4) 道徳科の授業改善

調査結果 (小・中学校)

【設問9】校内研修で重点を置いていること (複数回答可)



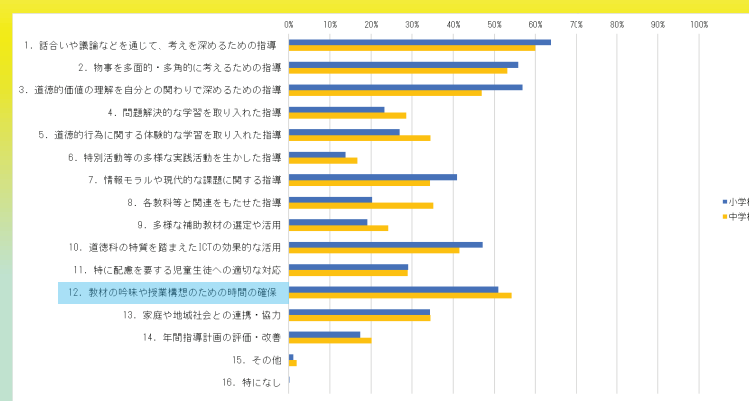
【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて

(4) 道徳科の授業改善

調査結果 (小・中学校)

【設問6】道徳科の授業を実施する上での課題 (複数回答可)



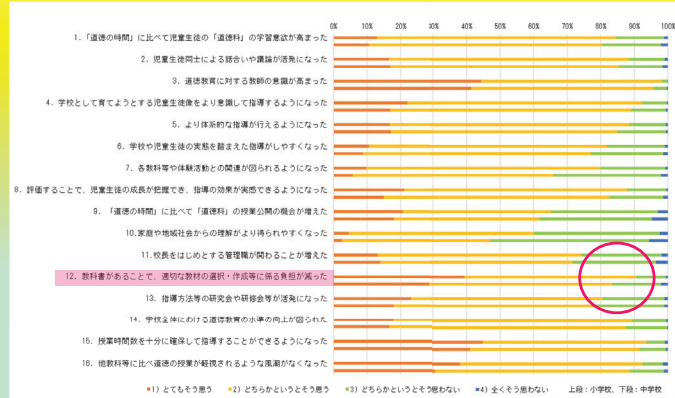
【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて

(4) 道徳科の授業改善

調査結果 (小・中学校)

【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて

(4) 道徳科の授業改善

調査結果 (小・中学校)

【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化 (自由記述)

前向きな変化

- 道徳に興味を持つ児童生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で連携した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法について、日頃から教師間の話し合いが活発に行われるようになった。
- 多様な指導法や発問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童生徒の発言や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

課題につながる変化

- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が見受けられるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

【令和3年度 道徳教育実施状況調査報告書より】

3 道徳科の授業の充実に向けて

(5) 道徳科における評価

道徳教育に係る評価等の在り方について

○改訂後の学習指導要領(特別の教科 道徳)
児童(生徒)の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

具体的な方法を、道徳科の評価の在り方に関する専門家会議で検討

【基本的な方向性】

(H27.6～H28.7)

- 数値による評価ではなく、記述式とすること、
- 個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価とすること、
- 他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価(※)として行うこと、
- 学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視すること
- 調査書に記載せず、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにする必要

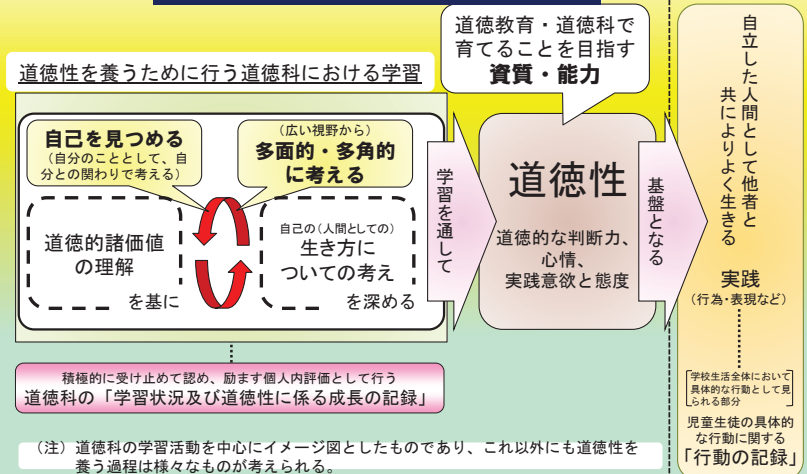


※専門家会議報告に基づき、道徳科の学習評価の在り方、指導要録の参考様式について、平成28年7月29日付で都道府県教育委員会等に通知

3 道徳科の授業の充実に向けて

(5) 道徳科における評価

道徳科の学習活動と評価のイメージ



道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 道徳科における評価の基本的な考え方

道徳性の諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度のそれぞれについて分節し、学習状況を分析的に捉える観点別評価を通じて見取ろうとすることは、児童生徒の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価としては妥当ではない。

授業において児童生徒に考えさせることを明確にして、目標に掲げる学習活動における児童生徒の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取ることが求められる。

個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とすることや、他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うことが求められる。

内容項目について単に知識として観念的に理解させるだけの指導や、特定の考え方に無批判に従わせるような指導であってはならない。

道徳科の学習状況の評価に当たっては、道徳科の学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で、児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する必要がある。

道徳科の目標に明記された学習活動に注目して評価を行う。

【小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 H29. 7から一部抜粋 下線は堀田】

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 個人内評価として見取り、記述により表現することの基本的な考え方

■ 児童生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうかという点

(例) 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている。

(例) 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。

(例) 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。

【小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 H29. 7から一部抜粋】

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 個人内評価として見取り、記述により表現することの基本的な考え方

■ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうかという点

(例) 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。

(例) 現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している。

(例) 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている。

(例) 道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。

【小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 H29. 7から一部抜粋】

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 個人内評価として見取り、記述により表現することの基本的な考え方

■ 発言が多くない児童生徒や考えたことを文章に記述することが苦手な児童生徒が、教師や他の児童生徒の発言に聞き入ったり、考えを深めようとしたりしている姿に着目するなど、発言や記述ではない形で表出する児童生徒の姿に着目することも重要である。

【小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 H29. 7から一部抜粋】

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 個人内評価として見取り、記述により表現することの基本的な考え方
年間や学期を通じて

当初は感想文や質問紙に、感想をそのままかいた
だけであった児童生徒が、

学習を重ねていく中で ↓

(例) 読み物教材の登場人物に共感したり、自分なりに考え
を深めた内容を書くようになったりする。

(例) 既習内容と関連付けて考えている場面に着目するなど、
1単位時間の授業だけでなく、児童生徒が一定の期間を
経て、多面的・多角的な見方へと発展していたり、道徳
的価値の理解が深まったりしている。

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 個人内評価として見取り、記述により表現することの基本的な考え方

■ 指導する教師一人一人が、質の高い多
様な指導方法へと指導の改善を行い学習
意欲の向上に生かすようにするという道
徳科の評価の趣旨を理解した上で、学校
の状況や児童生徒一人一人の状況を踏ま
えた評価を工夫することが求められる。

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 評価のための具体的な工夫

(例) 児童生徒の学習の過程や成果などの記録を計画的にファ
イルに蓄積したものや児童生徒が道徳性を養っていく過程
での児童生徒自身のエピソードを累積したものを評価に活
用する。

(例) 作文やレポート、スピーチやプレゼンテーションなど具
体的な学習の過程を通じて児童生徒の学習状況や道徳性に
係る成長の様子を把握する。

留意すること

記録物や実演自体を評価するのではなく、学習過程
を通じていかに道徳的価値の理解を深めようとしてい
たか、自分との関わりで考えたかなどの成長の様子を
見取るものである。

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

■ 組織的、計画的な評価の推進

■ 学習評価の妥当性、信頼性等を担保することが重要で
ある。

■ 評価は個々の教師が個人として行うのではなく、学校
として組織的・計画的に行われることが重要である。

(例) 学年ごとに評価のために集める資料や評価方法を明
確にしておく。

(例) 調査結果について教師間で検討し評価の視点などに
ついて共通理解を図る。

(例) 評価に関する実践事例を蓄積し共有する。

**校長及び道徳教育推進教師のリーダーシップの下に学校
として組織的・計画的に取り組むことが必要である。**

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

組織的、計画的な評価の推進

校長や教頭などの授業参加や他の教師との協力的な指導、保護者や地域の人々、各分野の専門家等の授業参加など

学級担任以外からの児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子について意見や所感を得るなどして、児童生徒を多面的・多角的に評価したり、教師自身の評価に関わる力量を高めたりすることも大切である。



組織的・計画的な取組の蓄積と定着が、道徳科の評価の妥当性、信頼性等の担保につながる。

教師が道徳科の評価に対して自信を持って取り組み、負担感を軽減することにもつながるものと考えられる。

【小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 H29.7から一部抜粋】

道徳科における児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

発達障害等のある児童生徒や海外から帰国した児童生徒、日本語習得に困難のある児童生徒等に対する配慮

道徳科の評価は他の児童生徒との比較による評価や目標への到達度を測る評価ではなく、一人一人の児童生徒がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行うことから、このような道徳科の評価本来の在り方を追究していくことが、一人一人の学習上の困難さに応じた評価につながるものと考えられる。

【小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 H29.7から一部抜粋】

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え、向き合う、「**考え、議論する道徳**」への転換、「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの授業改善が求められる。



道徳科の目標に示された
道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習






目標に示された道徳科の学習が、より効果的に行われるようにするための**手段としてICTを活用**

3.2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

2020年代を通じて実現を目指す学校教育「令和の日本型学校教育」の姿

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現

 子供の学び	<ul style="list-style-type: none"> 「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている 各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている <p>#個別最適な学び #協働的な学び #主体的・対話的で深い学び #ICTの活用</p>
 教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている 子供の一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている 子供の主体的な学びを支える伴走者としての能力も備えている <p>#教師の資質・能力の向上 #多様な人材の確保 #家庭や地域社会との連携 #学校における働き方改革 #教職の魅力発信 #教職志望者の増加</p>
 子供の学びや教職員を支える環境	<ul style="list-style-type: none"> ICT環境の整備により全国の学校で指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている 新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている 人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている <p>#ICT環境の整備 #学校施設の整備 #少人数によるきめ細かな指導体制</p>

令和の日本型学校教育

全ての子供たちの可能性を引き出し、
個別最適な学びと、協働的な学びの実現

・学習指導要領の着実な実施

・ICTが学校教育を支える
基盤的なツール

「特別の教科 道徳」の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

小・中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え、向き合う、「**考え、議論する道徳**」への転換、「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの改善が求められる。

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

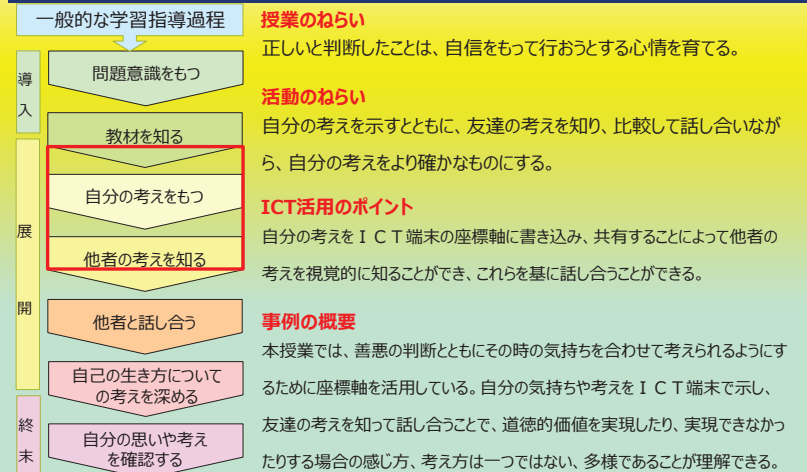
令和の日本型 学校教育

ICTを効果的に活用して、全ての子供たちの可能性を引き出す

個別最適な学び

協働的な学び

小学校・第3学年・道徳科・主題名「正しいことは自信をもって」
内容項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任



3 道徳科の授業の充実に向けて
 (6) 道徳科の特質を踏まえたICTの活用

プレゼンテーションソフトと学習支援ソフトのファイル共有機能
 を活用して、考えを表現・共有

【デジタルスライドの座標軸に

自分の気持ちや考えを位置で示す】



【共有された他者の気持ちや考えを知る】



【学習の目的】

道徳科の学習では、何がよいことで何がいけないのかなど、様々な内容項目を手掛かりとしながら考え、道徳的価値を理解することなどを通して道徳性を養うことを目標としている。しかし、道徳的価値を知的に理解するだけでなく、その時の自分の受け止め方も合わせて考えていき、その感じ方や考え方は一つではなく、多様であることも理解する必要がある。これらの理解のことを「価値理解」「人間理解」「他者理解」と言い、道徳的価値の理解に必要なものである。

【ICT活用のメリットを生み出すための工夫】

・教師が事前に作成したデジタルスライドの座標軸に言葉を入れて児童のICT端末に送り、一人一人の児童は、座標軸上の自分の考えにあてはまる場所に好きなマークを書き加える。その後、一人一人の児童はマークを入れたデジタルスライドを学習支援ソフトのファイル共有機能を使って共有することにより、それぞれの考えを知ることができる。

【ICT活用のメリット】

・黒板に表示された一つの座標軸に児童がネームプレートを貼っていく場合と比べると、時間が短縮され、ネームプレートを先に貼った児童の考えに影響されにくく、一人一人が自分の考えを表現できる。

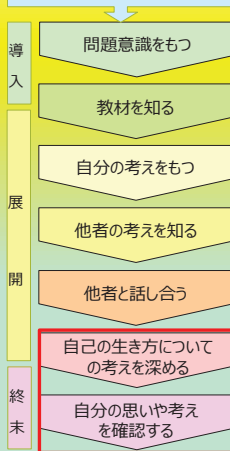
・共有された友達の考えを視覚的に捉えることができ、自分の考えと同じ友達や違う友達を見つけやすくなる。

○ 活用したソフトや機能：プレゼンテーションソフト、学習支援ソフトのファイル共有機能

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (6) 道徳科の特質を踏まえたICTの活用

小学校・第5学年・道徳科・主題名「誠実な生き方」
 内容項目：A 正直、誠実

一般的な学習指導過程



授業のねらい

常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

活動のねらい

他者と話し合った後、授業を振り返りながら自分の考えをまとめる段階で、他者の考えも参考にしながら自分の考えをより確かなものにする。

ICT活用のポイント

自分の考えをICT端末に打ち込み、共有することによって他者の考えも知ることができる。また、教師も全児童の考えを見渡すことができ、意図的に指名して学級の全児童に紹介することができる。

事例の概要

一人一人の児童が、ねらいとする道徳的価値である「誠実」について考えをまとめ、友達のまとめた考えを見ながら自分のよさや課題を見つけやすくなる。また、教師は、全児童の考えが把握しやすく、意図的に指名に生かすことができる。

3 道徳科の授業の充実に向けて
 (6) 道徳科の特質を踏まえたICTの活用

学習支援ソフトのファイル共有機能と文書作成ソフトを活用して、
 考えを共有・記録

【端末に自分の考えを打ち込む】



【学習の目的】

道徳科では、道徳的価値の理解を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方を確かに想起したりすることができるようにするなど、特に自己の生き方についての考えを深めることが大切である。そこで、本時に行われた道徳科の授業を一人一人の児童がしっかりと振り返りながら、これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深めることができるようにする。

【ICT活用のメリットを生み出すための工夫】

一人一人の児童がしっかりと、本時の授業を振り返りながら、自己の生き方についての考えを深め文字を打ち込んでいく。一人一人の児童がICT端末に打ち込んだ考えについて教師は、共有したり、意図的に共有しなかったりする。なかなか考えがまとまらない児童への対応として、一定時間を見計らって全児童の考えを共有する。教師は、全児童の内容をICT端末で確認しながら、個別に対応する。

【ICT活用のメリット】

・共有された友達の考えを知ることができ、自分の考えと比較して、さらに自分の考えを深めることができる。

・教師は全児童の考えをその場にいながらICT端末で把握することができ、意図的に指名をして、特定の児童の考えを他の児童に紹介することができる。

・このように毎時間蓄積された児童の考えは、継続的に行われた道徳科の授業で一人一人の児童の学習状況を見取って行われる評価の資料として活用することができる。

○ 活用したソフトや機能：学習支援ソフトのファイル共有機能と文書作成ソフト

【意図的に指名をして紹介する】



3 道徳科の授業の充実に向けて

(6) 道徳科の特質を踏まえたICTの活用

道徳科の学習指導過程でのICT活用（例）

児童（生徒）の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

・評価に当たっては、特に、学習活動において児童が道徳的価値やそれらに関わる諸事象について他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、下記のような点を重視することが重要であり、ICTの効果的な活用が子供たちの学習活動を促すことにもなる。

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか

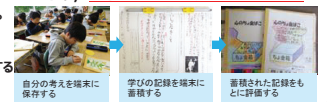
道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか

・道徳科では、子供たちの学習状況について大きくりなまとまりを踏まえた評価が求められる。
 ・年間や学期という一定の期間を経て評価するためにICTを活用することが、子供たちが自己を深く見つめることや教師の負担軽減にもつながる。

道徳科の評価のための活用例

継続的な授業によって子供の学習状況を見取り、子供がいかに成長したかを積極的に認め、励ます個人内評価を行う。

・毎時間の授業記録を端末に保存していく。
 ・子供が学びを振り返り、成長の様子を実感する。
 ・教師が子供の学びを見取り、評価に生かす。





道徳科のねらい(道徳的価値)を踏まえ、道徳科の授業で児童生徒に、**何について考えさせ、何に気付かせたいのか**を明確にもつこと。

学習指導過程や指導方法、教材・教具等の工夫は、**目的ではなく手段**であることを再認識すること。

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**





共に考え、議論していきましょう。

第26回 愛教研小・中学校道徳教育研究大会
道徳教育と「特別の教科 道徳」の
充実に向けて

国立教育政策研究所
教育課程調査官 井上結香子
(併任) 文部科学省教科調査官